

「文化」の担い手は
「高齢者」である

須佐 美智子さん



から十六歳で完成される「から始まり、「人間の五歳以下の子供たち八十五%を脳の成長に費やす」「ゴリラは一年間子供を抱いて育てる。京都」ということなどの京都で楽しみにしていました。一日目は「山宣の足跡」を訪ねて宇治へ、二日目の記念講演は「ゴリラから学んだ多様性と共に生かされる社会づくり」山極寿一さんでした。

日本高齢者大会は秋の京都で楽しんでいました。手によつて育つため、泣きよく笑うのは人の手によって育つため、泣いて自己主張し笑つて誰にでも愛されたた

体が多い方が脳の容量が多くなっている。百人から百五十人は信頼できる仲間、顔と名前と一致するが、それ以上になると身体以外の指標が必要なので、言葉になるのでは「など、ビックリすることばかり。最後に「世界で起

全国からの参加者の熱意があふれていた

山崎 起世和さん(年金者組合・北央医療生協)



嶋満彦氏からの冒頭発言に続き、佛教大学・横山壽一先生から「社会保障の今と今後」歴史を踏まえ、課題を探りました。社会保障制度を変える力は多数派を形成でき、党派を超えて支持を広げることが可能で政治革新と一緒に取り組むことが確かな途であると理解できました。「神奈川における75歳以上の後期高齢者医療保険の窓口負担2割化の運動」につけて、伍淑子さんから報告。全日本年金者組合の木田保男氏は、和服や畳の文化を残し和食を食べている」と、文化の担い手は高齢者である」と高齢者大和会での、そのように結論されたのかしらと思ふ次第でした。

「国や財界が検討している介護改悪」大砲かバターか」平和だからこそ、質の高い介護や豊かな社会ができる

ス!と豊富なデータから解説されました。討論では、全国からの参

日本高齢者大会に参加して

めだという」また「あらがうの仮説では、類人猿は生殖できなくなれば亡くなるが、人間は危険を伴う出産を避け閉経を前倒するのは子や孫たちの面倒を見るためではないか」「言葉の発明と脳容量の増大は関係はない。類人猿でも化石人類でも、集団個

は個性と多様性に富み社交を熟知していくか効率的時間が自由である。そして、日本は和服や畳の文化を残し和食を食べている」と、文化の担い手は高齢者である」と高齢者大和会での、そのように結論されたのかしらと思ふ次第でした。

代表派遣4名とオンライン参加1名でした。京都に着き、小雨の中、学習講座と分科会へと足を運びました。私は第1分科会『これから社会保障の運動をどう進めるか?』に海老名支部の今井光子さんと参加しました。東京

高齢者医療保険の窓口負担2割化の運動について、伍淑子さんから報告。全日本年金者組合の木田保男氏は、物価高騰の中『年金上げろ』の攻勢的な運動を!と題して憲法第25条を生かす社会保障改善の運動を強化しようと訴えました。京都民医連・松田貴弘氏は、

2日目はオープニングの狂言「蝸牛・かぎゅう」を観賞。記念講演は山極寿一さんが講演。ゴリラ社会を見本に国民が手を繋ぎ社会保障の充実を目指していく「日本高齢者人権宣言」が採択され、次回開催地の東京に大

感動! 「山宣の足跡、そして平穏院」に参加

小林 英次さん

(川崎医療生協)



負担増NO! 怒りの学習集会



とり孤星を守るだが寂しくはない背後には大衆が支持しているから』を見学、私にとつてはこの碑を見るのが今回の目的でした。その後、山宣が住んだ「花やしき」今は小さいながら数枚の家族写真です。

山宣39年の生涯で安らかな時間はわずかと思いますが、皆、にこやかに良い写真です。

中でもひと際、にこにこしている人がいます。誰かと尋ねるとお手伝いさんだそうです。「山本家では家族写真をお手伝いする時は、必ず家族もお手伝いさんも一緒に撮つたそうです。生前、お手伝いさんが話してくれましたが、日曜日にはお手伝いさんを休

元国会議員に紹介議員になつていただき国会に提出しました。しかし10月から、75歳以上の医療費の2割負担が強行され、神奈川県では3割に上る人が対象となりました。

保険医協会のハガキアンケートには、「窓口負担の増額は困る」、「受診を控えるしかな

い」、「負担を強いてくる血も涙もない政治が選挙で変えるしかない」などの怒りの声が寄せられています。

講演した寺尾正之さんは(公益財團法人日本医療総合研究所)は、「岸田政権は、公的責任を国民の自己責任や助け合いに転嫁していることを確認しました。

2日目は全大会、狂言はおもしろかつたし、山極寿一先生の講演も有意義な2日間でした。

12月8日、75歳以上の医療費2割化反対実行委員会(事務局)、団体(保険医協会、民医連、年金者組合、高齢期運動連絡会、社保協)が「これ以上の負担増NO! 怒りの学習集会」を開催。神奈川県内の2倍化中止署名は、6万4千筆を超え、15人の地

は、公的責任を曖昧にすることで、歴史的逆行である。「いのちと健康を守る」『住み続けられる地域を守る』政策への転換を求める国民的な運動を一憲法9条と25条を一体に」と、私たちの運動への期待を込めました。

今後の取り組みとして、「全国の運動と連携して『2割化を凍結して1割に』の取り組みを行ふ」。「医療費の窓口負担、介護保険の利用料の自己負担の引き上げを許さず」、「一部負担金のゼロ・縮小」をめざした運動をすすめることを確認しました。

日本高齢者大会in京都 神奈川から83人参加!!

「改悪」に抗する国民
の連帯した行動を

11月23～24日、第35回日本高齢者大会が京都で開催されました。2年ぶりのリモート併用での開催となりました。2日間で延べ2850人の参加で、神奈川県高齢期運動連絡会は、新幹線で京都へ56人、オンライン会場を建設プラザに設けるなどして27人が参加しました。

基調報告は、「社会保障窓口負担2割化の取り組み」を報告しました。

「後期高齢者医療保険事務局長が神奈川の「今と今後」と題して開かれました。伍科会が市内5か所に分散して開かれました。

横山壽一獨協大学教授が講演。いま社会保障制度が政府の防衛費増額のために真っ先に狙われ、この「改悪」に連帶した行動が重要な立場向かうには国民の連性と共生が生むべき姿は美しい

事務局長が神奈川の「後期高齢者医療保険窓口負担2割化の取り組み」を報告しました。

呼びかけ、運動の輪を

なっていると述べ、そ

の中心に高齢者大会に集う各組織の役割を強調しました。会場から発言で補強され、闘い道が開けることを

ラ社会の違いが進化の



11月23～24日開催です。

1 / 4



第276号
2022年12月21日

神奈川県高齢期運動連絡会
横浜市中区不老町1-5-11-4F
TEL 045-663-4061
FAX 045-663-4062
発行者：編集委員会

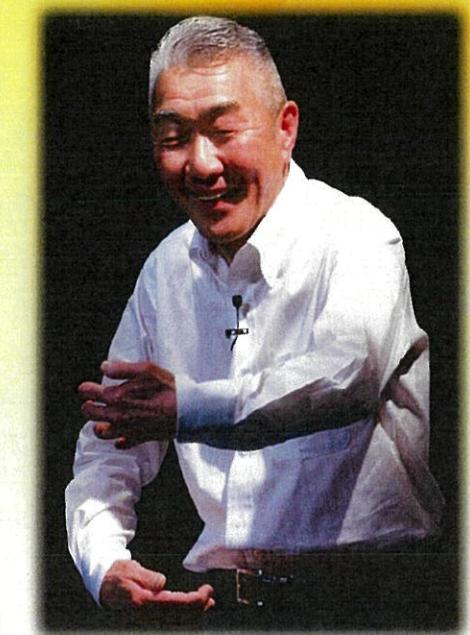
輝け! 高齢期 かながわのつどい inかわさき

憲法と高齢者の人権とくらしをまもろう
～軍拡NO！ 社会保障の充実を求める政治を～

プログラム

記念公演 独り芝居
松元ヒロ

特別講演 川崎市の課題を語る 市古博一
基調報告 高齢者人権宣言
リレートークと文化企画



撮影者：橋蓮二

日時 2023年2月28日(火)
10:30～(16:10終了予定)

資料代 800円(予約制)



場所 川崎市産業振興会館
(川崎市幸区堀川町66-20)
JR川崎駅西口から徒歩8分

主催 輝け高齢期かながわのつどいinかわさき実行委員会

※感染状況により中止、企画内容変更等がおこる場合があります。ご了承ください。

申し込み方法 電話・メールでの申し込みをお願いします

個人申込

氏名・チケット送付先住所・連絡先電話番号・購入枚数(4枚まで)をご準備の上、下記の電話かメールで申し込みをしてください。申し込み終了後、チケットと資料代振込用紙を送付します。
2月20日までに振り込みをお願いします(振込手数料は資料代800円とは別にご負担ください)。
振り込みが確認できなければ、チケットは無効になります。

044-266-7532(受付：月～金10時～17時) s.shirotani@kawaikyo.or.jp

団体申込

上記連絡先に必要枚数をご連絡ください。チケットは現金扱いで、終了後団体ごとに精算をして、残券と合わせて、実行委員会に返却してください。